

医療法人 創和会 しげい病院

事務部長
由比濱 恒明



写真 しげい病院

施設概要

名称：医療法人創和会 しげい病院

病床数：256床

透析ベッド：110床

職員数：477名

医師(常勤)16名、薬剤師10名、看護師190名、准看護師6名、介護福祉士25名、放射線技師6名、臨床検査技師13名、臨床工学士16名、理学療法士25名、作業療法士20名、言語聴覚士7名、健康運動指導士2名、管理栄養士13名、臨床心理士1名、歯科衛生士1名、診療情報管理士8名、社会福祉士5名ほか

施設紹介

当院は、岡山県倉敷市中心部にあり、美術館や白壁の街並みで観光地として知られる倉敷美観地区からも程近い場所に位置しています。1968年に岡山県下でいち早く透析医療を開始した歴史があります。

2013年11月末に、約3年間をかけ3期に分けての新本館増築工事が完成しました。工事に際して同時透析は着工前の100床から86床に一時的に減少し、ご紹介いただく患者さまをお待たせするケースも生じていました

が、第2期工事完了後の2013年8月に110床に増床して以降はスムーズに紹介患者さまの受け入れができるようになりました。

特徴・取り組み

血液浄化療法センター

当院と重井医学研究所附属病院の創和会2施設合計で約640名の患者さまの透析治療を行っており、そのうち当院の血液浄化療法センターでは2つの透析室で110台のコンソールを備え、現在約290名の透析患者さまの診療にあたっています。透析を中心に血液浄化全般に対応し、On-LineHDFも積極的に導入しています。

また、災害時対策として非常用発電機を備え、停電時にも通常通りの透析を継続することができます。透析機械室では地震対策として、機器に免震装置を設置しています。

専門外来・アクセス管理

当院では、腹膜透析外来やCKD外来・糖尿病外来などの専門外来を設け、専門医をはじめ看護師、管理栄養士や薬剤師、作業療法士、健康運動指導士、臨床心理士、歯科衛生士などが参画するチーム医療により、腎疾患やそれに繋がる疾患を抱えるさまざまな患者さまのニーズに応えています。

また、心臓血管外科専門医によるアクセス手術(年間

約50件)、循環器学会専門医によるPTA(年間約150件)など、アクセス管理に取り組んでいます。

リハビリテーション

当院は、透析と並んでリハビリテーションを診療の柱としています。透析患者さまにも積極的にリハビリテーションを実施しております。今後益々、腎臓リハビリテーションにも力を注いでいきたいと考えています。

透析患者さまを受け入れるための回復期リハビリテーション病棟

現在2つの回復期リハビリテーション病棟(入院料1を算定)を有しています。ご存知のように回復期リハビリテーション病棟は、急性期病院での治療後に集中的なリハビリテーションによって在宅復帰を目指す病棟であり、対象病名と入院期限が定められており、在宅復帰率などの成果主義の施設基準が課せられています。

先の平成24年度診療報酬改訂で、それまで回復期リハビリテーション病棟入院料に包括されていた人工腎臓が出来高算定できるようになり、透析患者さまにとって実質的に閉ざされていた回復期リハビリテーション病棟への入院に道が開かれました。しかし、透析患者さまに特有の薬剤や検査などの多くが包括されたままであることや、時間的なリハビリの制約などの事情、また在宅復帰率など成果主義の施設基準達成に関する危惧もあり、透析患者さまを受け入れている回復期リハビリテーション病棟はあまり多くはありません。

透析患者さまにも回復期リハビリテーション病棟での充実したリハビリによって在宅復帰を目指す選択肢を提供することは、リハビリと透析を診療の柱とする当院の使命と考えています。そのために当院では2013年1月に、医療療養型病棟2病棟のうちの1病棟を、透析患者さまを積極的に受け入れる回復期リハビリテーション病棟に転換し、回復期リハビリテーション病棟が2病棟になりました。

透析を午後に実施し透析前にリハビリを施行して透析



写真1 しげい病院(2013年11月末 新本館増築工事完成後の全景イメージパース)



写真2 透析室

日のリハビリ時間を確保したり、また、患者さまの病状によっては透析後のリハビリを実施するケースもあります。それによって、透析患者さまも他の患者さまと遜色ない量のリハビリを実施しています。リハビリテーションと共に栄養管理も重要であり、NSTチームによって取り組んでいます。

この透析患者さまを受け入れる2つ目の回復期リハビリテーション病棟を開設して以降、医療圏を超えて岡山県内や隣県からも患者さまをご紹介いただいています。2012年12月から2013年10月までの11ヵ月間にこの病



写真3 透析スタッフ

棟を退院された回復期リハビリテーション対象の透析患者さま29名のうち、急性増悪のため急性期病院に転院となった4名と死亡退院3名を除く22名が在宅復帰されました。そのうち18名は、もともと通院されていたクリニックなどの透析施設に再び通院されています(他の4名はご家族の事情などの理由で元とは異なる透析施設に通院)。今後も、回復期リハビリテーションを必要とされるさらに多くの透析患者さまの在宅復帰のお手伝いをしたいと志しています。

〈お問い合わせ〉

しげい病院

〒710-0051 岡山県倉敷市幸町2-30

TEL : 086-422-3655

FAX : 086-421-1991

<http://www.shigei.or.jp/shigei/>